

週間漁海況情報—第15号

平成23年4月11日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.4.11)を示した。

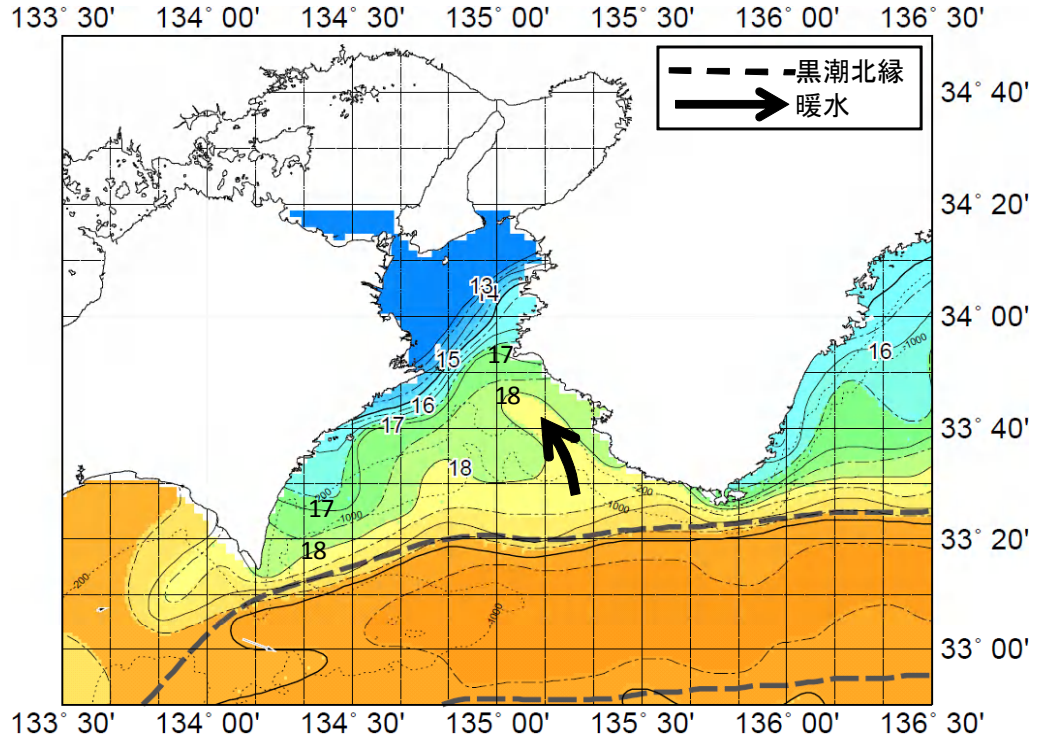
黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖で著しく離岸、足摺岬沖で離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。

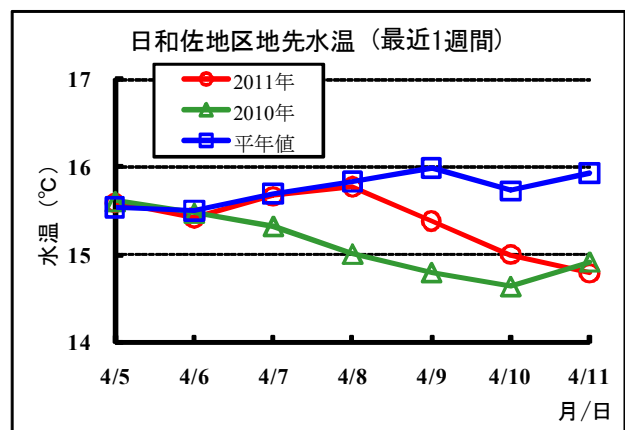
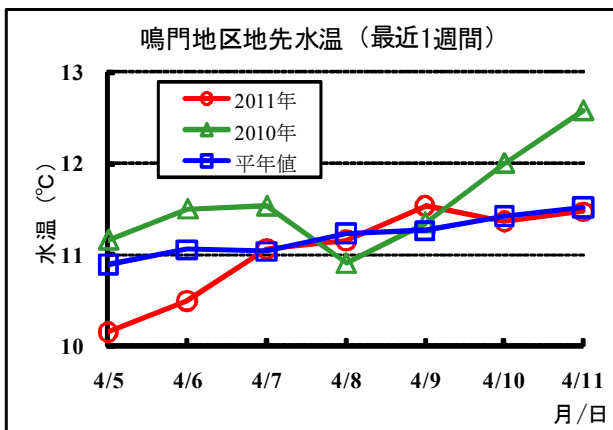
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で11～12℃台、紀伊水道で12～15℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県側で18℃台の黒潮系暖水が浸入している。海部沿岸では、下り潮になっており、17℃以下の内海系水に広く覆われている。

内海系水と黒潮系暖水との潮境は、海部郡牟岐沖から和歌山県田辺沖にかけて確認できる。



地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の10.2～11.5℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の14.8～15.8℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の15.0～17.1℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

2. 海況の経過

建網：海部沿岸で、ブリが0.6トン（1日1隻当たり13kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.2トン（同4kg）、マイワシが0.9トン（同88kg）、小小主体にサバ類が7.0トン（同151kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.2トン（同32kg）、ブリが6.7トン（同1.0トン）、メジロが1.3トン（同190kg）、中主体にハマチが1.1トン（同163kg）、小主体にサバ類が0.2トン（同32kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、小主体にタチウオが0.3トン（同37kg）、メジロが0.3トン（同10kg）、ハマチが0.3トン（同7kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 04月04日～04月10日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
建網	海部沿岸	ブリ	42	563	13		
小型定置網		アオリイカ	47	206	4		
		マイワシ	10	881	88		
		サバ類	46	6,959	151	小小主体	
		大型定置網	アオリイカ	7	225	32	大主体
大型定置網		ブリ	7	6,673	953		
		メジロ	7	1,331	190		
		ハマチ	7	1,143	163	中主体	
		サバ類	7	221	32	小主体	
		釣り	タチウオ	7	258	37	小主体
			メジロ	27	270	10	
ハマチ			39	279	7		

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや低め」の11～12℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや低め」の15～16℃台前半で推移する見込み。

特異現象：漁業者の情報によると、本県沿岸で傘径5～15cmのアクラゲが多く出現している。

海部沿岸で、ゴマサバ主体の小サバが多く漁獲されている。

お知らせ（重要）：

水産研究所の携帯版ホームページアドレスが変更になりました。

QRコード読み取り機能付きケータイをお持ちの方は、右のQRコードからホームページに移動できます。お気に入りに登録されている方は、変更をお願いします。

水産研究所携帯版ホームページアドレス

<http://mobile.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/>

